



### 再生方策の検討プロセスについて

#### 2. ケーススタディー地区の選定

- 保全・再生のための環境対策および調査に当たっては、ケーススタディー地区を抽出し、具体的検討を行うことが実質的
- そこで各委員へケーススタディー地区として選定すべき地域、ならびにその理由についてアンケート調査を実施
- ケーススタディー地区は、既存資料整理結果、委員へのアンケート結果を元に、委員会での議論によって選定

委員アンケート調査結果

海域	ケーススタディー地区	選定理由	意見数
有明海北部	荒尾地区	・アサリ等ベントスが少なく、ノリ生産もよくない ・地域の学校の先生により長年干潟生物調査をされている・生物相が豊富	3
	鎮海岸	・海岸工事・埋立て	1
有明海南部	熊本沖	・底質環境の悪化が著しい	1
	熊本新港近傍	・底質環境の悪化が著しい	1
	緑川河口	・底質環境の悪化が著しい ・陸域と海域の双方の問題が顕在化しやすい ・漁業として重要 ・航路維持や治水目的の土砂管理にも細心の注意が必要	2
	白川河口	・陸域と海域の双方の問題が顕在化しやすい ・漁業として重要 ・航路維持や治水目的の土砂管理にも細心の注意が必要	1
	塩屋漁港	・海岸工事・埋立て	2
八代海北部	八代海湾奥部	・底質環境の悪化が著しい	1
	不知火海岸	・特異的な生物相を有し、希少種も多く見られるが、高潮防災対策の実施により塩性灘地などの消滅、悪化が著しい ・悪化が進行	1
	球磨川河口域	・陸域と海域の双方の問題が顕在化しやすい ・漁業として重要 ・航路維持や治水目的の土砂管理にも細心の注意が必要	1
八代海南部	(意見なし)	(意見なし)	0
天草有明	(意見なし)	(意見なし)	0
天草八代	八代海養殖漁場	・底質環境の悪化が著しい	1
	御所浦	・生態系に配慮した漁業の模索の実績がある ・漁業と環境保全・再生の機運が地域にある	1
(地区非特定)	・最近まで漁村・農村の風土が色濃く残っていた地域 ・大河川(流域・河川・河口域)	1	



[ケーススタディー地区の選定]

ケーススタディー地区	概要	
有明海	荒尾地区	有明海熊本県北部ゾーンにおける代表地区
	松尾地区	熊本周辺ゾーンにおける代表地区 (主に白川・坪井川河口部)
	川口地区	熊本周辺ゾーンにおける代表地区 (主に緑川河口部)
八代海	八代海北部沿岸域	八代海熊本県北部ゾーンにおける代表地域 (宇土半島南岸・球磨川河口部)
	芦北地区	八代海熊本県南部ゾーンにおける代表地区
	御所浦地区	天草八代ゾーンにおける代表地区

### 再生方策の検討プロセスについて

#### 3. 課題の抽出と整理

- 昨年実施された意見交換会や聞き取り調査結果から各地区における問題点を整理
- 各委員へ地区ごとで問題となる課題とその対策についてアンケート調査を実施(2006年12月～2月)
- 各種調査結果、委員アンケートで得られたすべての課題を各地区ごとに集約し、代表的な項目ごとに課題を抽出し、整理